

2020年8月4日

各位

会社名 ダイキン工業株式会社
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 十河 政則
(コード：6367、東証第一部)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション室長 細見 基志
(TEL 06-6373-4320)

2021年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想および 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想および通期連結業績予想について、下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正 （2020年4月1日～2020年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	百万円 1,070,000	百万円 40,000	百万円 40,000	百万円 23,000	円 銭 78.61
今回修正予想（B）	1,180,000	100,000	100,000	63,000	215.32
増減額（B－A）	110,000	60,000	60,000	40,000	—
増減率（％）	10.3	150.0	150.0	173.9	—
（ご参考）前期第2四半期実績 （2020年3月期第2四半期）	1,354,201	168,291	170,056	118,513	405.14

2. 2021年3月期通期連結業績予想数値の修正

(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,330,000	百万円 150,000	百万円 150,000	百万円 100,000	円 銭 341.78
今回修正予想 (B)	2,350,000	170,000	170,000	114,000	389.63
増減額 (B - A)	20,000	20,000	20,000	14,000	—
増減率 (%)	0.9	13.3	13.3	14.0	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	2,550,305	265,513	269,025	170,731	583.61

3. 修正の理由

今後の世界経済については、新型コロナウイルス感染症の拡大が継続中、先進国を中心に感染防止策を取りながら社会経済活動を再開しておりますが、感染が続く中で、今後も小規模な地域の封鎖や営業活動の停止・自粛など、人と人との接触に対する制限が続くものと見ております。加えて、米国、アジアや中南米各国では依然として感染拡大に歯止めがかかっていないことや、第2波の懸念、企業業績の悪化等のリスク要因もあり、不透明な状況が続くと見られます。

当初は概ね上期まで新型コロナウイルスの影響が出るケースを想定しておりました。第1四半期においては、経済活動再開の動きが早まったことや、リモートワークによる住宅用空調需要の押し上げ効果がありましたが、第2四半期以降の需要については、アジアをはじめとした新興国では影響が長期化するものと見ています。また、アフターコロナの新常態のもと、業務用空調では、小売・飲食店、宿泊施設およびオフィス関連向け需要は回復に時間がかかると見ています。

以上を踏まえ、2020年5月12日に発表した業績予想を上記の通り修正いたします。なお、本見直しには、いわゆる新型コロナウイルスの感染第2波による大規模な都市封鎖や生産・販売活動の停止は想定しておりません。

引き続き、今回の新型コロナウイルスの問題に対しては、守りと攻めの観点からの短期対策、本問題を機とした体質強化・体質改革への取り組みを進めるとともに、刻一刻と変化する状況に応じて柔軟に対応し、計画についても都度見直していく運営を行ってまいります。第2四半期以降の為替レート前提については、1米ドル108円、1ユーロ120円を前提にしております。

以上